

〈月1回〉

〈月1回〉

国際女性農業従事者年

農に生きる

高橋マス子（神奈川・大和支部みつばち班、農民運動全国連合会元女性部長）

ここは、住宅地に囲まれた「都市農業」の典型のような畑です。この近辺でも、かつては20数戸の農家がありましたが、今やわが家だけとなりました。市内では、夫たちの仲間が30代からとりくんできた産直のおかげで後継者が育ち、その仲間で直売所を開設するなど、都市農業もがんばっています。消費者との距離が近く、新鮮、安全なものを簡便に届けられる強みもあります。

わが家では、県内の消費者を対象にした産直と、週3回の直売を実施。そのため、少量多品目栽培で、年中、季節のものが穫れるよう種播きをします。春先は、ナス、トマト、ピーマン、きゅうりなどを播き、育苗、定植、収穫と続きます。今は収穫の真っ最中で、きゅうりなど朝晩2回取りをしないと、「すりこぎ棒」のように太ってしまいます。

8月下旬までこうした果菜類の収穫が続きますが、

昨年、本当に大変だったのが温暖化による秋・冬野菜の発芽不良です。8月下旬から種子播きをしますが、発芽適温は20℃前後です。ところが、昨秋は9月になっても気温が下がらず、白菜など、育苗するものは日影を追って種播きし、なんとか収穫できましたが、ブロッコリーは発芽したものの、十分生育できず、収穫できませんでした。

最近、家に帰り、農業を始めた長女が「農業は面白い」と言います。天候に左右され、決して楽ではないけれど、種子を播き、ものを育てる喜びがあると思います。かつて、わが家で研習に入った女子たちも、サクランボ農家や、北海道で牛飼いとてがなっています。

政治は、あくまで冷たく、自給率向上など眼中にないようですが、やはり日本に農民と農業は必要です。



きゅうりの朝晩2回取りに追われる筆者

③ 都市農業で野菜を育てる魅力、困難……

トマホーク出撃基地にさせない！

舞鶴の海上自衛隊基地では今、核攻撃を受けた際にも活動を維持・継続できる能力（抗堪性）の向上を目的とした強化がすすめられています。司令部の地下化に416億円、舞鶴港を母港とする

⑫

私のまちですすむ

大軍拡

京 都

京都府南部の祝園の陸上自衛隊分屯地には、660億円をかけて新たに14棟もの弾薬庫を増強、本州最大規模の巨大弾薬拠点としてようとしています。Xバンドレーダー米軍基地が隣接する、北部の京丹后市経ヶ岬の航空自衛隊分屯地では、

2014年のレーダー設置以降、日米共同訓練が13回も実施されています。経ヶ岬でのレーダー監視結果に基づき舞鶴の自衛隊でトマホークによる先制攻撃が可能になり、祝園から弾薬を補給し続けることができるようになります。まさに、京都が戦争の最前線に立たされようとしています。



5月31日、全支部参加で基地を包囲

昨秋以降、京都では祝園で弾薬庫へのミサイル配備反対、京丹後でXバンドレーダー反対など集会を重ね、今年5月31日には舞鶴の海上自衛隊基地を3000人のヒューマンチェーンで包囲しました。新婦人も京都府内全支部から650人が参加して声を上げました。私たち舞鶴支部は、トマホーク反対の署名にとりくみ地域で対話を広げ、オリジナルの缶バッジでアピール、月2回の金曜行動など多彩な行動で、「舞鶴を平和の海に」と奮闘しています。（舞鶴支部 尾上晶美）

時事・クローズアップ

自民・維新の合意に基づき

高市政権がいま重視している政策が「インテリジェンス機能の強化」です。「インテリジェンス」は「知性」「知能」などと訳されますが、軍事分野では他国の情報の収集・分析（諜報）を指します。

昨年10月、自民・維新は連立合意書の中で、「インテリジェンス機能の強化」を打ち出し、①26年に国家情報会議、国家情報局の設置、②27年度末までに対外情報庁と情報要員（スパイ）

7月に発足する「国家情報会議」 国民監視の危険なねらい

日本国民救援会副会長 鈴木 猛

養成機関の創設、③速やかなスパイ防止関連立法（基本法、外国代理人登録法・ロビー活動公開法など）の策定・成立を確認しました。

の官庁が持つ情報を一元的に集約する強大な権限を与えられています。まさに「国民監視の司令塔」です。

スパイ防止法は必要ない

これらの政策は、「スパイ防止のため」としてすすめられています。

しかし、日本が「スパイ天国ではない」ことは政府（石破政権）も認めています。国家の大事な情報を違法に盗んだり漏らしたりすれば、現行法で罰せられます。新しい法律は要りません。

巨大な権限を持つ司令塔

国家情報会議は、重要情報活動や外国の情報活動への対処などについて調査・審議をおこないます。「情報」といっても、国民の暮らしをよくするための情報ではなく、安全保障やテロ活動などの情報です。そのなかには「戦争に反対する声を抑え込むため」の情報も含まれるでしょう。

時の政権のために暗躍してきた内閣情報調査室（内調）を格上げした国家情報局は、国民を監視してきた公安警察や自衛隊情報保全隊等をはじめ、すべて



5・12緊急ペンライト行動「市民総監視の国家情報局法案を通すな！」で、左から3人目が筆者

*日本国民救援会（<https://kyunkei.org/>）では、「スパイ防止法」反対署名と学習会の開催をすすめています。ご協力をお願いします。